



木曽林務課だより

8月号
その2

立秋が過ぎ、キノコの話が聞こえる時期になってきましたが、7月の長雨以降クマの目撃事例も増えています。そのため、キノコ狩りに山に入られる際の注意を今回はまとめてみました。

ここに注意!!

山から楽しく帰ってくるために。

キノコ狩りなどで山に入ることは、クマが暮らしている所に入ることです。クマ等の野生動物に遭わないために、以下のことに注意してください。

1. クマ鈴、ラジオなどを持って、鳴らしながら自分が行動していることを動物に知らせるようにしてください。
2. キノコに夢中になりすぎず、周囲の音に注意を払い、不審な音が聞こえたら、ひと声かけて後ずさって離れましょう。
3. クマの糞等の痕跡をみつけたら、その場所から速やかに離れましょう。

また、山のキノコを食べて、毎年食中毒が発生しています。「知らないキノコは採らない」を基本に、心配なキノコは、木曽保健福祉事務所のキノコ衛生指導員に見てもらいましょう。

(相談は9月20日から 詳しくは木曽保健福祉事務所食品・生活衛生課へ)

木曽地域の山には豚コレラ(豚の伝染病)がイノシシに広がっています。この病気は、人はかからない病気ですが、養豚をされている方には大きな問題です。

山から出るときには、靴底、衣類やキノコに付着した泥をよく落としてください。また、養豚場等の豚などの飼養施設に近づくのは避けてください。

参考「木曽林務課だより(7月号その2)」

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kisochi/kisochi-rimmu/documents/r10702rimmukadayori.pdf>)

